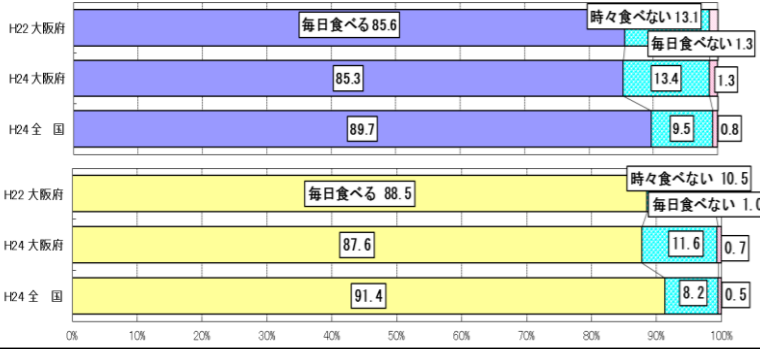


生活習慣の状況 (児童質問紙調査)

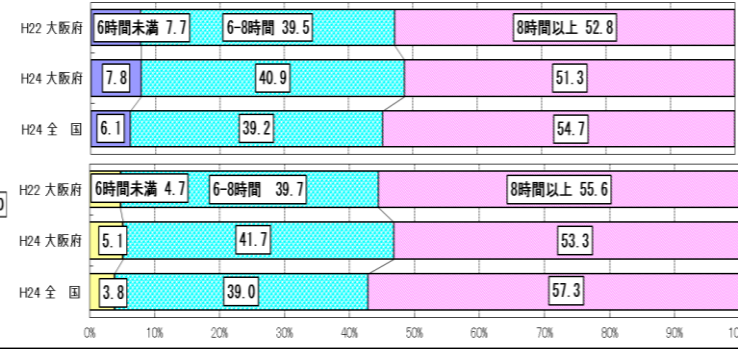
質問: 朝食は食べますか

- ・全国と比べ、「毎日食べる」の割合は低い。
- ・「毎日食べる」は、平成22年度と比べ、男子で0.3ポイント女子で0.9ポイント下回った。



質問: 1日の睡眠時間

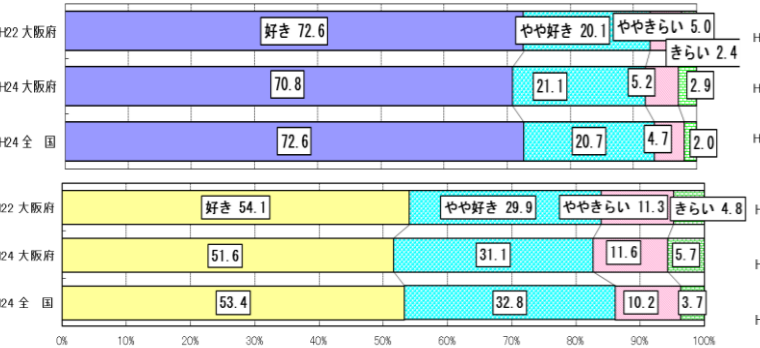
- ・全国と比べ、睡眠時間が「8時間以上」の割合は低い。
- ・「8時間以上」は、平成22年度と比べ、男子で1.5ポイント女子で2.3ポイント下回った。



運動に関する意識、運動習慣の状況1 (児童質問紙調査)

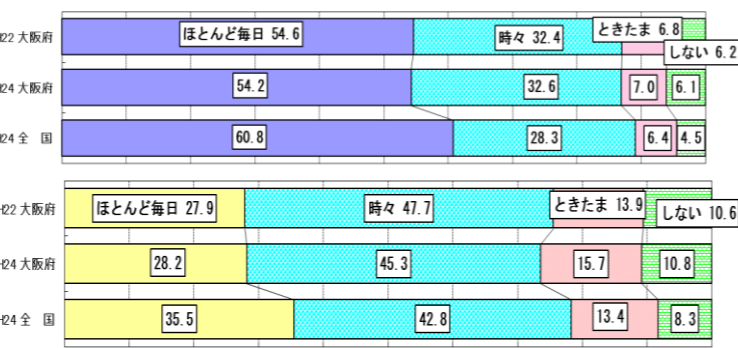
質問: 運動やスポーツをすることは好きですか

- ・全国と比べ、「嫌い」「やや嫌い」の割合は高い。
- ・「やや嫌い・嫌い」は、平成22年度と比べ、男子で0.7ポイント、女子で1.2ポイント上回った。



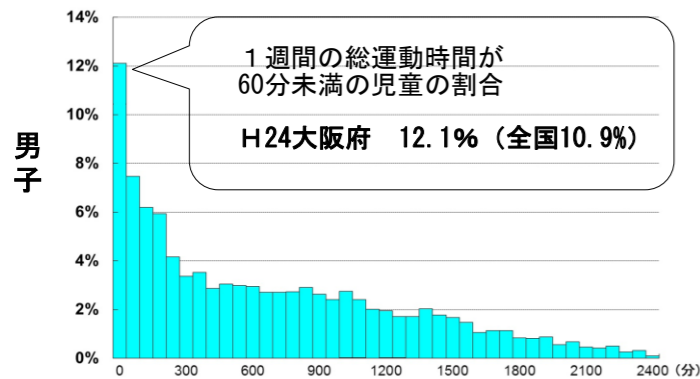
質問: 運動やスポーツをどのくらいしていますか (体育授業除く)

- ・全国と比べ、「ときたま」「しない」の割合は高い。
- ・「ときたま」「しない」は、平成22年度と比べ、男子で0.1ポイント、女子で2.0ポイント上回った。



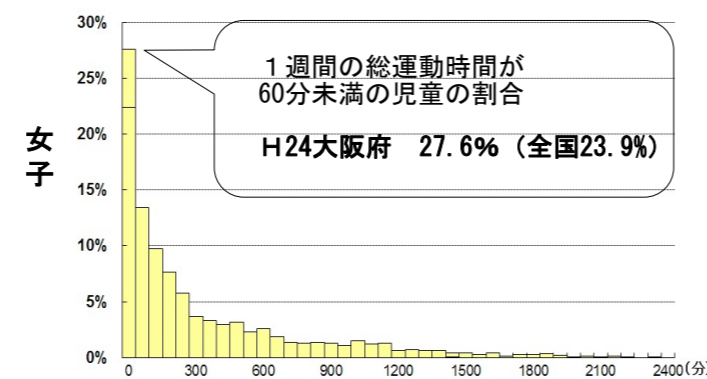
1週間の総運動時間との関連

- ・1週間の総運動時間の分布は、平成22年度調査と同様、運動をほとんどしない児童が多く、女子においては顕著であった。
- ・特に、女子の1週間の総運動時間が60分未満の児童は、27.6%であった。



1週間の総運動時間が60分未満の割合

小学校	男子		女子	
	大阪府	全国	大阪府	全国
H24	12.1%	10.9%	27.6%	23.9%
H22	12.1%	10.5%	27.4%	24.2%



運動に関する意識、運動習慣の状況2 (児童質問紙調査)

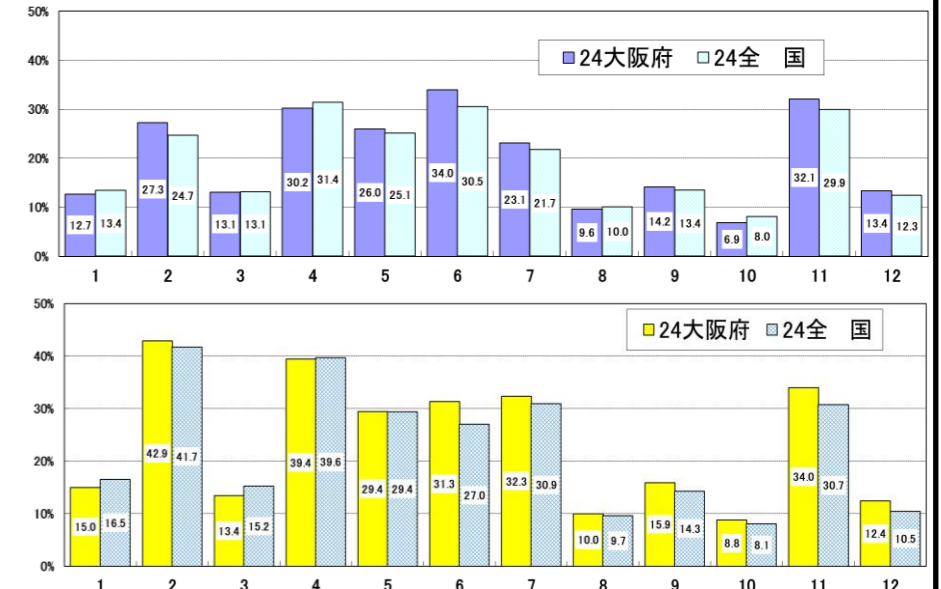
質問: 運動やスポーツをしない理由は何ですか。

【※運動やスポーツを「ときたま」(月に1~3日くらい)、もしくは、「しない」と回答した児童の理由】

- ・男子は「疲れる」が34.0%で最も高かった。
- ・女子は、「ほかにしていることがある」が42.9%で最も高かった。

※ 番号の質問内容

1. 入りたい運動部や地域のスポーツクラブがない
2. ほかにしていることがある (習い事や塾等)
3. 一緒にする友達がいない
4. 運動やスポーツが苦手で自信がない
5. してみたいスポーツが見つからない
6. 疲れる
7. する時間がない
8. 運動やスポーツをする時間があれば、勉強などをするように言われている
9. する場所や機会がない
10. どこでスポーツ活動をしているかの情報がない
11. してみたいと思わない
12. その他



体力向上に関する取組 (学校質問紙調査)

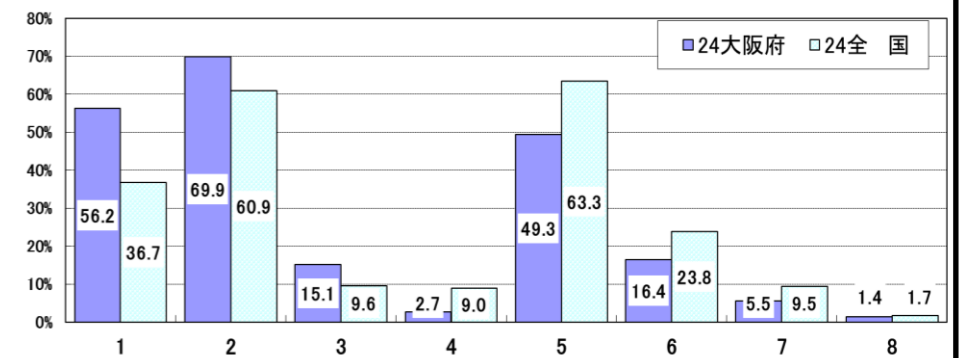
質問: 実施した体力向上の取組のうち、大きな効果が上がったと思われるものはどれですか (複数回答可)

【※平成20年頃と比較して、体力向上に関する取組が増えたと回答した学校 (60.8%) の実施内容】

- ・「体育授業における体力向上のための取組」が69.9%と最も高く、次に「体力向上のための体育的行事等」が56.2%であった。

※ 番号の質問内容

1. 体力向上のための体育的行事等
2. 体育授業における体力向上のための取組
3. 地域と連携した体力向上に関する取組
4. 家庭・保護者と連携した体力向上に関する取組
5. 始業前や休み時間、放課後等の運動時間確保のための取組
6. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査を踏まえての取組
7. クラブ活動や運動部の活動への参加を促す取組
8. その他



質問: 学校において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえて、どのような取組をしましたか (取り組み予定ですか) 複数回答可

- ・「体育の授業改善に取り組んだ」が75.8%と最も高く、次に「体育の授業以外で、児童の体力向上に関する取組を行った」が67.5%であった。
- ・「調査の結果を踏まえた取組をしていない (行う予定はない)」は5.8%で、平成22年度より、8.2ポイント改善した。

1. 体育の授業改善に取り組んだ (取り組む予定である)
2. 体育の授業以外で、児童の体力向上に関する取組を行った (行う予定)
3. 家庭に対して児童の体力向上に関する働きかけを行った (行う予定)
4. その他
5. していない (行う予定はない)

